

眼科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	下眼瞼退行性内反症に対する lower eyelid retractors advancement と transcanthal canthopexy の併用手術施行後の眼瞼水平方向の引き締め効果に関する研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	眼科 助教 河野伸二郎
研究の対象となる方	2021 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 12 月 31 日までに下眼瞼退行性内反症に対して lower eyelid retractors advancement と transcanthal canthopexy の同時手術を行う患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>本研究では、Lower eyelid retractors advancement と transcanthal canthopexy という術式を同時に行った場合の水平方向の弛緩の長期的な改善効果を調べることを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>下眼瞼退行性内反症は、加齢により下眼瞼の水平方向と垂直方向の弛緩(ゆるみ)が生じ、下眼瞼が眼球の方向に回転しまうことで、睫毛の接触による異物感、角膜障害をきたす疾患です。これらの引き締めをおこなう Lower eyelid retractors advancement と transcanthal canthopexy という術式を同時に行うことで治療できます。</p> <p>本研究に参加する研究者が患者さんの治療内容を知る必要がある場合、患者さんのカルテや病院内の記録などを閲覧します。また、最終的な研究結果は学術目的のために学術雑誌や学会で公表される予定です。その場合、患者さんの名前や個人を特定できるような個人情報は、個人を特定できない形式(符号化)により管理、解析し個人の秘密を厳重に守り、第三者には絶対にわからないように配慮します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p>

	非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から，年齢，性別，既往歴，検査結果，手術所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は，2025年3月31日までに電話、Fax等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼科 担当者：助教 河野伸二郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22181) Fax 0561-63-7255